国際標準名称識別子（International Standard Name Identifier：ISNI）に係る質問紙調査回答集計

テーマ	各国国立図書館における ISNI 導入の動機及び ISNI の導入により国内出版物の著者に関するデータの管理や典拠作成業務において生じた変化
調査方法	国立図書館や標準的な書誌作成機関を対象に、Web アンケートフォームからの回答を電子メールで依頼した
調査実施期間	令和 3 年 3 月 17 日から 4 月 30 日まで
有効回答数	12 件（うちオーストラリア国立図書館から 2 件）

凡例

・ 受領した回答に国立国会図書館で日本語訳を付けた場合は日本語訳の後に原文を記載した。

・ 質問２以降、回答数欄は「有効回答件数/対象となる回答の件数」の形で記載した。

1　機関名（記述・必須）

回答	略称	ISNI への参加	回答数
英国図書館 原文：British Library	BL	登録機関	1
Casalini Libri	CL	登録機関	1
オランダ王立図書館 原文：KB The National Library of the Netherlands	KB	登録機関	1
韓国国会図書館 原文：National Assembly Library of Korea	NAL	登録機関	1
米国議会図書館 原文：Library of Congress, USA	LC	メンバー	1
ニュージーランド国立図書館 原文：National Library of New Zealand	NLNZ	メンバー	1
ノルウェー国立図書館 原文：The National Library of Norway	NLN	メンバー	1
ドイツ国立図書館 原文：German National Library	DNB	不参加	1
シンガポール国立図書館 原文：National Library Board Singapore	NLB	不参加	1
オーストラリア国立図書館 原文：National Library of Australia ※1 機関から 2 件の回答を受領した。	NLA	不参加	2
スイス国立図書館 原文：Swiss National Library	SNL	不参加	1

2　ISNI に参加しているか。（必須）

選択肢	回答数
登録機関になっている。	4/12
メンバーになっている。	3/12
参加していない。	5/12 ※うち NLA2 件

3　登録機関向けの質問　※２で「登録機関になっている」を選んだ場合に回答

（1）なぜ登録機関になったか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
国や地域の書誌作成機関として著者情報を管理・流通促進するため。	4/4
国や地域内の著作権管理に ISNI を利用するため。	1/4
典拠作成業務を効率化するため。	3/4
収集対象とするコンテンツの多様化に対応するため。	2/4
その他（自由記述）	1/4

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
BL	英国において出版サプライチェーンと連携するため。 原文：To work with the publishing supply chain in the UK

（2）ISNI を付与している範囲（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
国や州など特定の地理的範囲で出版されたコンテンツの作成に関わった人又は組織	2/4
特定のメディアタイプ（図書、学術文献、音楽コンテンツなど）のコンテンツの作成に関わった人又は組織	0/4
特定の言語のコンテンツの作成に関わった人又は組織	0/4
その他（自由記述）	3/4

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NAL	当館はあらゆる個人及び団体に ISNI を発行する権限があると理解している。 原文：In my understanding, our library is authorized to allocate ISNIs to any persons and organizations.
BL	当館コレクションのコンテンツに関連する個人及び団体並びに当館 BL ISNI 登録サービスを利用する個人及び団体。バルクロードのリクエストは協議の上処理することが可能。 原文：Persons and organizations connected to content in our collections and any persons and organizations who use our BL ISNI Registration Service. Bulk load requests can be processed via negotiation
CL	掲載コンテンツの作成に貢献した個人及び団体。特定の分野に限らない。 原文：Persons and organizations that contributed to creating content published not only within a specific area

（3）ISNI のサービスをどのように自館のプロダクトと業務に活用しているか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
出版者、権利者、流通事業者向けの新規サービスを開始した。	2/4
典拠作成に当たり ISNI のデータを参考にしている。	4/4
自館の目録に ISNI を入力している。	3/4
組織の識別子として利用している。	2/4
利用していない。	0/4
その他（自由記述）	0/4

（4）ISNI はどのように発行されるか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
付与対象の個人や組織からの申請に応じて発行される。	3/4
出版者からの一括申請により当該出版者が管理する著者に対して発行される。	2/4
納本資料又は書誌作成対象資料の著者に対して発行される。	2/4
典拠レコードが作成された時に付随して発行される。	2/4
その他（自由記述）	1/4

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NAL	主に韓国で活躍する研究者に発行される。 原文：ISNIs are mainly allocated to researchers active in Korea.

（5）個人からの申請を受け付けているか。（必須）

選択肢	回答数
Yes	3/4
No	1/4

（6）ISNI の申請者に対して料金を徴収しているか。（必須）

選択肢	回答数
Yes	2/4
No	2/4

（7）ISNI の導入・普及の取組において他機関と協力しているか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
出版者と協力している。	2/4
他の図書館とコンソーシアムを構成して協力している。	2/4
他の図書館とコンソーシアムを構成せずに協力している。	3/4
協力していない。	0/4
その他（自由記述）	3/4

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NAL	コンソーシアムのような形で、研究機関や大学図書館と連携している。 原文：It cooperates with research institutes and university libraries with which it has formed sort of a consortium.
BL	ISNI 音楽コンサルテーショングループ、ISNI 図書館コンサルテーショングループ 原文：ISNI Music Consultation Group and ISNI Libraries Consultation Group
CL	PCC

（8）他の図書館とコンソーシアムを構成している場合、理由を記入してください。（自由記述）

回答機関	回答
NAL	データの共有と ISNI の利用促進のため。 原文：Sharing data and promoting the use of ISNIs.
BL	納本制度のワークフローに関するトレーニング、サポート、ベストプラクティスの開発のため。 原文：Training, support and developing best practice for legal deposit workflows (6 legal deposit libraries in the UK and Ireland who have a shared cataloguing programme)

CL	リンクトオープンデータのパラダイムに従ってデータとサービスの共有を促進する SVDE イニシアティブをサポートしている。 原文：Casalini supports the SVDE initiative to promote the sharing of data and services according to the linked open data paradigm

(9) バーチャル国際典拠ファイル（Virtual International Authority File : VIAF）に参加している場合、ISNI と VIAF の両方に参加している理由は何か。（複数選択可）

選択肢	回答数
VIAF に提供している範囲とは異なる範囲に ISNI を付与しているため。	0/4
ISNI の非公開データを利用するため。	1/4
ISNI と VIAF 双方に参加することで、自館の典拠データの品質をより向上させることができるため。	0/4
その他（自由記述）	1/4

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
BL	ISNI がインタラクティブなデータベースであるのに対し、VIAF はデータを取得するだけなので、直接作業することができないため。 原文：Can't work directly with VIAF as it only harvests data whereas ISNI is an interactive database.

4　メンバー向けの質問　※２で「メンバーになっている」を選んだ場合に回答

(1) なぜメンバーになったか（複数回答可・必須）

選択肢	回答数
国や地域の機関として著者情報を管理・流通促進するため。	2/3
国や地域内の著作権管理に ISNI を利用するため。	0/3
典拠作成業務を効率化するため。	1/3
収集対象とするコンテンツの多様化に対応するため。	1/3
その他（自由記述）	0/3

(2) 将来、登録機関になることを検討しているか。している場合は、理由を記入してください。（自由記述）

登録機関になることを検討していると回答した機関は無かった。

(3) ISNI のサービスをどのように自館のプロダクトと業務に活用しているか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
出版者、権利者、流通事業者向けの新規サービスを開始した。	0/3
典拠作成に当たり ISNI のデータを参考にしている。	1/3
自館の目録に ISNI を入力している。	0/3
組織の識別子として利用している。	0/3
利用していない。	2/3
その他（自由記述）	0/3

(4) VIAF に参加している場合、ISNI と VIAF の両方に参加している理由は何か。（複数選択可）

選択肢	回答数
VIAF に提供している範囲とは異なる範囲に ISNI を付与しているため。	0/3

ISNI の非公開データを利用するため。	0/3
ISNI と VIAF 双方に参加することで、自館の典拠データの品質をより向上させることができるため。	3/3
その他（自由記述）	0/3

5　不参加機関向けの質問　※２で「参加していない」を選んだ場合に回答

（1）将来、参加することを検討しているか（必須）

選択肢	回答数
登録機関になることを検討している。	0/5
メンバーになることを検討している。	1/5
検討していない。	2/5 ※うち NLA1 件
検討の結果、参加しないことにした。	2/5 ※うち NLA1 件

（2）検討している場合、なぜ ISNI に参加しようと考えているか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
国や地域の書誌作成機関として著者情報を管理・流通促進するため。	1/1
国や地域内の著作権管理に ISNI を利用するため。	0/1
典拠作成業務を効率化するため。	1/1
収集対象とするコンテンツの多様化に対応するため。	1/1
その他（自由記述）	1/1

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
DNB	新しい ISNI の登録のために、書籍業界の登録機関/サービスプロバイダーと密接に協力することになるため。 原文：We'll have a close cooperation with a Registration Agency / Service Provider in the book industry for registration of new ISNIs

（3）検討していない/検討の結果参加しないことにした場合、なぜ ISNI に参加しないか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
同じ国内や分野で他の機関が既に参加しているため。	2/4 ※うち NLA1 件
ISNI とは異なる、同じような性質の他の取組に参加しているため。	1/4
その他（自由記述）	1/4 ※NLA

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NLA	ユーザーコミュニティーの利益が、参加のサポートに要するリソースの価値に見合わないため。 原文：Benefits to our user community do not equal the value of resourcing required to support participation

（4）ISNI のサービスを利用しているか（複数選択可・必須）

選択肢	回答数

典拠作成に当たりISNIの公開情報を参考にしている。	3/5 ※うちNLA1件
自館の目録にISNIを入力している。	0/5
利用していない。	1/5
その他（自由記述）	1/5 ※NLA

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NLA	ISNIは参加図書館から受け入れられているが、その数は非常に少ない。 原文：ISNI is accepted from participating partner libraries but the number is very small

6　ISNI導入に伴う変化に関する質問　※２で「登録機関になっている」か「メンバーになっている」を選んだ場合に回答

（1）ISNIの導入効果にはどのようなものがあったか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
コンテンツの出版者や流通業者とISNIを共有することにより、データ作成スピードが上がった。	3/7
これまで典拠コントロールができていなかった資料群に対して、著者の一意の識別が可能になった。	4/7
自館データのリンクトデータ化が容易になった。	2/7
著作権管理がしやすくなった。	1/7
その他（自由記述）	3/7

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
BL(登録機関)	まだすべてのプロセスが完全に実装されているわけではないが、これが私たちの進むべき方向である。 原文：All processes not fully implemented yet but this is the direction we are travelling in.
LC(メンバー)	今のところない。 原文：no notable gains so far
NLNZ(メンバー)	最適なISNI導入方法を検討するためのメタデータチームの人員配置がまだできていない。 原文：We have not yet had the staffing capacity in our metadata team to consider how best to implement ISNI

（2）ISNIの導入に伴い、ISNI関連業務を行う体制をどのように構築したか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
登録機関又はメンバーとしてISNI関連業務を行う職員を新規に配置した。	3/7
品質管理チームとしてISNI関連業務を行う職員を新規に配置した。	2/7
既存の職務にISNIに係る業務を割り当てた。	4/7
その他（自由記述）	3/7

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NLN(メンバー)	これまでは、ISNIデータベースにデータをエクスポートすることで、典拠ファイルの既存レコードにISNIを追加するのみ。

	原文：We have so far only added ISNIs to existing records in the Authority File by exporting data to the ISNI database.
LC(メンバー)	ISNI に対応するための人員配置に変更はない。 原文：no changes to staffing to handle ISNI
NLNZ(メンバー)	名称典拠レコード担当者の業務にこの責任を追加することを希望していたが、その人物には追加業務を引き受けるだけのキャパシティがない。 原文：It was hoped to add responsibility for this to the work of our Name Authority Record Co-ordinator, but that person does not have capacity to undertake additional work.

（3）新たに発生した業務があれば、教えてください。（自由記述）

回答機関	回答
NAL(登録機関)	ISNI の発行やデータの取り扱いについて、新たなプロセスやシステムを構築すること。 原文：To establish a new process and system for allocating ISNIs and handling data.
BL(登録機関)	ISNI-IA にサービスを提供する Founding Member として Quality Team を結成。ユーザーからの問い合わせ対応、他メンバーのトレーニング、データサンプリングなどの Quality Team の業務。 原文：Formed the Quality Team as a Founding Member to provide services to the ISNI-IA. Quality Team duties such as answering user queries, training other members, data sampling
CL(登録機関)	目録モジュール(Olisuite/Wecat of @Cult)の強化・改善 原文：Enhanced and improved our cataloging module (Olisuite/Wecat of @Cult)
NLN(メンバー)	典拠ファイルからレコードを抽出して、ISNI データベースに送信する業務。 原文：Yes, extracting records from the Authority File and sending them to the ISNI database.
LC(メンバー)	なし。 原文：No

（4）ISNI に係る職務に携わる職員数（自由記述・必須）

回答機関	回答
KB(登録機関)	10 人。 原文：10
NAL(登録機関)	1.5 人。 原文：One and a half
BL(登録機関)	9 人。 原文：9
CL(登録機関)	当初は 3 人でスタートし、6 人まで増やす予定。 原文：We started with 3 but we plan to increase to 6
NLN(メンバー)	3 人、ただし非常勤のみ。 原文：3, but only part time.
LC(メンバー)	なし。 原文：none
NLNZ(メンバー)	計画では（まだ実行されていないが）、スタッフ 1 人がこれを担当業務に追加することになっていた。 原文：The plans (not yet implemented) were for one staff member to have this added to their responsibilities.

（5）ISNI の導入に当たって、どのような点が難しかったか。（複数選択可・必須）

選択肢	回答数

業務体制の構築	3/7
ISNI 関連業務の確立	2/7
職員の育成	1/7
システム開発・改修	4/7
その他（自由記述）	2/7

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NLN(メンバー)	なし。 原文：No
LC(メンバー)	正式にはまだ導入されていない。 原文：no formal implementation, yet

(6) 業務を遂行する上で必要なスキル・経験はあるか。ある場合は、具体的に記入してください。（自由記述）

回答機関	回答
KB(登録機関)	ある。典拠ファイルの完全に熟練した目録作成者のみが ISNI 関連作業を行うことができる。 原文：Yes, only fully skilled cataloguers on authority files are able to perform ISNI-related work
NAL(登録機関)	典拠ファイルについて理解していること。 原文：Understanding of authority files.
BL(登録機関)	ISNI システムの利用、データの操作、リンクトデータのレコード管理。 原文：Use of ISNI systems, manipulation of data, managing linked data records
CL(登録機関)	メタデータのエキスパートである目録担当者を選定した。 原文：We have selected metadata expert catalogers
NLN(メンバー)	これまでは、ISNI データベースにデータをエクスポートすることで、典拠ファイルの既存レコードに ISNI を追加するのみ。 原文：We have so far only added ISNIs to existing records in the Authority File by exporting data to the ISNI database.

(7) ISNI を導入する上で参加費用以外にどのような費用がかかったか。（必須）

選択肢	回答数
システム開発・運用費用	5/7
コンソーシアム運営費用	0/7
追加の人件費	3/7
かかっていない。	2/7
その他（自由記述）	0/7

(8) 今後も ISNI を活用する上で、どのような点を課題と考えるか。（自由記述）

回答機関	回答
NAL(登録機関)	重複した割り当てや間違ったマージレコードのない、高いデータ品質を維持すること。 原文：To keep data quality high with no duplicate assignments and no wrong merged records.
BL(登録機関)	ISNI メンバーネットワーク間の共同作業を発展させ、成熟させる。 原文：Developing and maturing collaborative work across ISNI member networks
CL(登録機関)	著者から出版社までのチェーンの強化・短縮化。 原文：Strengthen and shorten the chain from author to publisher

NLN(メンバー)	典拠ファイルから新しい ISNI を自動更新する方法の開発。開発中。 原文：Developing a method for automatic update of new ISNIs from our Authority File. To be developed.
LC(メンバー)	スタッフ参画のコスト。 原文：cost of staff involvement
NLNZ(メンバー)	ISNI が提供する機会を模索し、実行に移すためのキャパシティを見出すこと。もしこのキャパシティを見出すことができなければ、ISNI への加盟を再考する必要があるだろう。 原文：For us it is finding any capacity to explore and implement the opportunities provided by ISNI. If we cannot find this capacity we will need to reconsider our membership of ISNI.

7　コミュニケーションに関する質問　※２で「登録機関になっている」か「メンバーになっている」を選んだ場合に回答

（1）データの内容について疑問がある場合、問合せ先は明確か。（必須）

選択肢	回答数
Yes	7/7
No	0/7

（2）運営体制やシステム改善の要望は誰にどのように伝えるか。（必須）

選択肢	回答数
要望の種類によって定められた窓口へ伝える。	5/7
Consultation Group に伝える。	1/7
その他（自由記述）	2/7

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
LC(メンバー)	まだない。 原文：none, yet
NLNZ(メンバー)	伝えていない。 原文：We haven't sent any.

8　典拠業務について　※２で「参加していない」を選んだ場合に回答

（1）典拠作成の対象としている資料の種類（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
単行書	5/5 ※うち NLA2 件
逐次刊行物	4/5 ※うち NLA1 件
記事・論文	2/5
音楽・映像資料	3/5 ※うち NLA1 件
その他（自由記述）	3/5

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NLA	手稿、写真、オーラルヒストリー記録、地図。 原文：Manuscripts, Pictures, Oral History recordings, Maps
SNL	写真。

	原文：Pictures
NLB	注目の地元アーティストや著名人。 原文：Notable local artists and personalities

（2）典拠作成の対象としている資料の基準があれば教えてください。（自由記述）

回答機関	回答
SNL	著作、場所、団体。 原文：Works, Places, Corporate Bodies
NLB	NLB の知識組織システムに関する方針文書。 原文：NLB's Knowledge Organisation Systems Policy document

（3）自館で作成した典拠の流通範囲（複数選択可・必須）

選択肢	回答数
OCLC (VIAF)	3/5
国・地域内の公共図書館	3/5 ※うち NLA1 件
国・地域内の大学図書館	3/5 ※うち NLA1 件
一般に公開している（HP や書誌提供システムから誰でも自由に使えるようになっている。）。	5/5 ※うち NLA2 件
その他（自由記述）	1/5 ※NLA

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NLA	Trove（https://trove.nla.gov.au/） 原文：Trove.nla.gov.au

（4）ISNI 以外に入力している人や組織の識別子があれば、教えてください。

選択肢	回答数
ORCID	3/5
自国独自の標準識別子	3/5
出版者が付与する識別子	1/5
その他（自由記述）	2/5

「その他（自由記述）」の回答詳細

回答機関	回答
NLA	出版社が作成したメタデータを経由して、目録に情報を取り込むことができる。 原文：Information could come into our catalogue via publisher created metadata
NLB	米国議会図書館の名称典拠、ISBN、ISSN、ISMN、VIAF。 原文：Library of Congress Name Authorities, ISBN, ISSN, ISMN, VIAF